

「さあ おさづけ」

プログラムのねらい

- おさづけに対する意識、考え方を見つめなおす
(※なぜ取り次がない、取り次いでもらわない)
- おさづけに対する意識、考え方を具体的に表現し、心を軽くする
- 日常生活で気軽におさづけを取り次ぐよう、取り次いでもらうよう呼びかける

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《演習》	あなたのおさづけ度チェック	5分
	《おしゃべりタイム》	おさづけ、私の気持ち	15分
《気づき（承）》	《本読み》	「さあ おさづけ」	5分
	《おはなし》	おさづけの不思議	15分
《学習（転）》	《本読み》	「さあ おさづけ」	5分
	《実技》	おさづけ取り次ぎ方確認	30分
《結び（結）》	《おしゃべりタイム》	取り次ぎのふりかえり	5分
	《おはなし》	まとめ	20分
	《おしゃべりタイム》	講座のふりかえり	20分

(2 時間)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間
各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- テキスト「さあ おさづけ」（布教二課にて受渡し）
- おさづけチェックシート（受講者資料 コピーして使用）
- ふりかえりシート（ " ）

プログラム進行表



総合司会コメント



講師のお話



本読み












おしゃべりタイム












演習

時間	項目	プログラム	進め方とポイント	方向性・ねらい
		開会 親神様、教祖、祖霊様遙拝 オリエンテーション 講師・スタッフ紹介 テキスト紹介 講座のねらい 等	○テキストは指示がある まで開かないことを促す。 ○受講者とスタッフで作 り上げる講座であるの で協力を呼びかける。 ○オリエンテーションと して、講座内容、進め 方、終始時間、トイレ 休憩なども説明する。	
		おさづけの勉強の前に、みなさんのおさづけとのかかわり度合いを聞いてみたいと思 います。 これからちょっとしたアンケートをしてみます。みなさん気楽に正直に書いてみてく ださい。 みんなが書き終えたら班で発表してください。 A 「私はおさづけを取り次いだことがあります」 「かぜをひいたぐらいには取り次ぎます」 「私にとっておさづけは手当てです」 B 「私はおさづけを取り次いだことはありません」 「戴きましたがどういうものかよくわからないからです」 「私にとっておさづけは意味不明なものです」 という具合に、簡単にでいいですよ。		

<p>5 分</p>		<p>〈演習〉 ・あなたのおさづけ度チェック</p>	<p>① おさづけチェックシートを配ります。 ② ひとりずつ記入してもらいます。 ③ 記入ができれば班内でひとりずつ順番に発表してもらいます。</p>	<p>○自分がおさづけについて、どんな気持ちや姿勢なのかを確認、認識する。 ○おさづけに対する意識を具体化させる。</p>
		<p>おさづけについての考え方や気持ちは様々ですね。ではもう少しみなさんの気持ち、ホンネを話し合っていきましょう。</p> <p>おさづけを取り次いだことのある人は、なぜ取り次ぐのか、体験談、そのときの気持ちを、そしておさづけのすばらしさを話してください。取り次いだことのない人は、なぜ取り次がないのか、思っていることや疑問など気持ちを話してください。ありのままでもいいですよ。</p> <p>お互いに相手を否定したり説教したりするのではなく、お互いを理解しながら、相手にわかってもらいたいという気持ちで話してください。</p>		
<p>15 分</p>		<p>〈おしゃべりタイム〉 ・おさづけ、私の気持ち</p>	<p>① おさづけを取り次いだことのある人は、取り次ぐ理由や体験談、そのときの気持ちを、取り次いだことのない人は、取り次がない理由を話します。 ② 取り次いだことのある人は、おさづけのすばらしさを、取り次いだことのない人は、疑問や気持ちを話します。</p>	<p>○おさづけに対しての具体的な意識を思いきり表現することで心を開き、軽くする。 ○意識（立場）の違う者どうして話し、お互いに理解し学び合う。</p>

		<p>ありがとうございました。</p> <p>おさづけについて、取り次ぐ人、取り次がない人、様々な立場や体験の違いから率直なところを聞かせていただいたと思います。</p> <p>確かに、本当に様々な体験を経ると、時にはおさづけの効能を信じられなくなったり、わからなくなったりすることもあります。また、その逆もあります。</p> <p>ここで、テキストから子供たちがおさづけについて感じたことを読んでみましょう。</p>		
5分		<p>〈本読み〉</p> <p>・「さあ おさづけ」</p> <p>P1-3 小学生の作文</p>	<p>○講師に合わせて、全体で声をだして読みます。</p> <p>※班内で声を出して読んでもよい。</p>	<p>○おさづけについて（肯定的に）考える序章にする。</p>
		<p>みなさんはどんな感想を抱かれたでしょうか？</p> <p>子供たちの純粋さ、豊かな感性に驚かされます。</p> <p>おさづけとは親神様、教祖の思いが込められた人だすけの手立てなのですね。</p> <p>おさづけについて、もう少し詳しくお話を聞いてみましょう。</p>		
15分		<p>〈おはなし〉</p> <p>① おさづけについて簡単な補足説明。</p> <p>② おさづけの不思議。</p>	<p>○自身の体験談を精一杯話す。</p> <p>○教祖を感じる、教祖がおはたらきくださることを伝える。</p> <p>○取り次ぎによって人もたすかり、自分自身もたすかる。</p> <p>○出直しもご守護（心のたすかりもおさづけの効能）。</p>	<p>○おさづけの効能について強調し、おさづけに対する積極性を高める。</p>
		<p>講師の貴重な体験をお聞きしました。</p> <p>さて、続いてちょっとテキストの P12-13 を読んでみてください。</p>		
5分		<p>〈本読み〉</p> <p>・「さあ おさづけ」</p> <p>P12-13</p> <p>神がはたらく</p>	<p>○講師に合わせて、全体で声をだして読みます。</p>	

		この不思議なおさづけ。できれば取り次いでいきたいものですね。今日はせっかくですから、取り次ぎ方を確認しておきましょう。		
30 分		〈実技〉 ・おさづけ取り次ぎ方確認	① 講師が説明をします。その説明に合わせて手を進めます。 ② 班内で 2 人一組になります。 ③ ペアで確認しながら取り次ぎ合います。	
		ありがとうございました。いかがでしたか？ 今、取り次ぎ合いをさせていただきましたが、取り次いだときどんな気分だったか、取り次いでもらったときどんな気分だったか、一言ずつで結構です。少しの時間ですが、班で発表しあってください。		
5 分		〈おしゃべりタイム〉 ・取り次ぎのふりかえり	○おさづけを取り次いだ、取り次いでもらった感想を話します。	
		久しぶりに取り次いだ人、初めて取り次いだ人、取り次いでもらった人、いろいろな人がいたと思います。また、ドキドキしたり、気持ちがよかったり、いろいろな感覚を持たれたことでしょう。 いずれにしても、人のために一生懸命に祈り、願うことや自分のために一生懸命に祈ってくださることに、悪く思う人はいないのではないかと思います。 私たちは人のために祈り願う方法、おさづけを取り次げる立場にあるのです。 今日はおさづけについて勉強しました。最後に講師からまとめのお話をさせていただきます。		

20 分		<p>〈まとめのおはなし〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おさづけを取り次ぐよう呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教祖のおさづけに対する思い。 ○日常でもぜひ取り次いでみませんか。 ○なかなか取り次ぐ勇気のでない人は、せめて毎日人のために祈りませんか、そこから始めましょう。 <p>※説教調にならないように、呼びかけるような思いで。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○おさづけを取り次ぐよう呼びかける。
		<p>今日の講座をふりかえって、今の気持ちを率直に書いてみてください。 このふりかえりシートはご提出いただくものではないので、お気軽に書いて下さい。 みんなが書き終えたら班で発表してください。 項目ごとに一回り順番に発表してください。 全部済んだら今日の感想や気持ちを自由に話してください。</p>		
20 分		<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座のふりかえり 	<ol style="list-style-type: none"> ① ふりかえりシートを配ります。 ② 各自、記入してもらいます。 ③ 記入ができたなら班内で一人ずつ順番に発表してもらいます。 ④ 自由に話してもらいます。 	
		<p>本日はご参加いただきましてありがとうございました。 (次回の参加案内があれば渡す) 最後に一つお知らせがございます。今日、皆さんと共に勉強させていただいた内容以外にも、もっとお道の教理について学びたいという方のために、おちばでは「三日講習会」というものが開催されています。詳しくは、所属の会長さんにご相談ください。 本日は、これで終了いたします。ありがとうございました。</p>		
		<p>閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>		

《おさづけチェックシート》

Q1. あなたはおさづけを取り次いだことがありますか？

1. はい、あります

2. いいえ、ありません

↓

Q どのくらいの症状からおさづけを取り次ぎますか？

※取り次ぐ段階に○印をつけてください

- ↑
- 5、不治の病、命にかかわる大病
 - 4、大けが、入院、治療の必要な大病
 - 3、発熱、かぜ、ねんざ など
 - 2、軽い頭痛、歯痛、筋肉痛、すり傷など
 - 1、健康祈願、幸せを願って（ちょっと思いついたら）

↓

Q それはなぜですか？

※○印をつけてください。複数可

- 1. おさづけが何なのかよくわからない
- 2. 取り次ぎ方がよくわからない
- 3. 自分がしても効くとは思えない
- 4. おさづけなんて信じられない
- 5. その他

Q2. あなたはおさづけを取り次いでもらったことがありますか？

1. はい、あります

2. いいえ、ありません

↓

Q どのくらいの症状からおさづけを取り次いでもらいますか？

※取り次いでもらう段階に○印をつけてください

- ↑
- 5、不治の病、命にかかわる大病
 - 4、大けが、入院、治療の必要な大病
 - 3、発熱、かぜ、ねんざ など
 - 2、軽い頭痛、歯痛、筋肉痛、すり傷など
 - 1、健康祈願、幸せを願って（ちょっと思いついたら）

↓

Q それはなぜですか？

※○印をつけてください。複数可

- 1. 必要だと思ふような病気をしたことがない
- 2. 信仰心の鈍い私になんかもったいない
- 3. お礼やお供え、とても面倒
- 4. おさづけなんて信じていない
- 5. その他

Q3. あなたにとって、おさづけとは…一言で



[]

《おさづけ ふいかえシート》

簡単に書いてみましょう！

1. 講座を受けて、今の気持ちはいかがですか？
2. おさづけについて、参考になることや気づいたことはありましたか？
それはどんなことですか？
3. おさづけについて、あなたのイメージや考え方で変化はありましたか？
それはどんなことですか？
4. おさづけについて、これからのあなたの小さな（ちょっとした）目標を聞かせてください